

様式 2

安曇野市食育推進会議（第3回） 会議概要

1	審議会名	安曇野市食育推進会議（第3回）
2	日 時	平成20年10月10日 午後1時30分から午後2時30分まで
3	会 場	穂高健康支援センター 集合指導室
4	出席者	広田直子会長、小松恵美子副会長、須澤大知委員、丸山泰彦委員、 安田万里子委員、丸山美代子委員、小柳由紀子委員、遠藤あゆみ委員、 高橋千治委員、山田泰子委員、藤田光世委員、豊田修身委員
5	市側出席者	丸山好夫部長、高橋道明課長、飯沼利雄課長、有賀朝一課長、 平林今朝雄課長(代理：和田企画員)、海野元秀係長、小松成江管理栄養士、 竹澤千薫管理栄養士、高橋正子保健師、丸山安基子歯科衛生士
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成20年10月15日
協 議 事 項 等		
1	会議の概要	
(1)	開 会	
(2)	会長あいさつ	
(3)	協議事項	
①	食育推進計画（案）について	
②	その他	
(4)	閉会	
2	審議概要	
(1)	食育推進計画（案）について	
(事務局)	安曇野市食育推進計画(案)の説明	
(会 長)	手直しをしていく段階で、この辺を検討したら良いのではないか、この意味はどういうことなのかという事で分かりにくいところがありましたら、ご意見をお願いします。	
(委 員)	もう一步進んでしっかり噛んで食べるというような事も加えて、それを小さい頃からの目標値に入れて頂くと良いのではないかなという気がしました。	
(会 長)	アンケートでは特にそこは調査してなかったでしょうか、噛んで食べるとか…。	
(事務局)	そこまでは調査していませんが、噛む大切さというのはおっしゃる通りだと思いますので、今後検討していきたいと思います。	
(会 長)	市の全体の意識としてそういう事をしましようというのが、みんなの年代に伝わっていくととても面白いかなと思います。	
(委 員)	18頁（概念図）の保育園・幼稚園・学校への矢印の先に、「食に関する指導」というのがあるのですが、具体的には専門的な栄養士等が行って話をするというような予定なのでしょうか。	
(事務局)	今現在も実施しているのですが、保育園には栄養士が行っていますし、学校の方にも給食センターの栄養士が学校訪問して指導しています。また、家庭科等の授業もあると思います。そういった形で食に関する指導は行っています。	
(会 長)	今のご質問に関連して、学校における食に関する指導は、栄養士等の専門家だけがやるのではなく、学校全体の色々な特別活動・行事・給食というものを通してトータルで食育というのを進めるというのが文科省の考え方だと思います。そこがしっかりできるかどうか、学校で食育が推進されるかのポイントになると思うので、「給食指導年間計画」ではなく、「学校における食に関する指導の全体計画を作成する」という目標にしておいた方が良いのではないかなと、私も感じました。	
(委 員)	折角の機会ですので、学校の方でももう少し深く・広く、具体的に食育を進められるように、それぞれ計画をして、実施して頂ければよろしいのではないかなと切に願います。	
(委 員)	17頁（基本目標）の「食の理解と継承」なのですが、「地産地消や食の安全、郷土食」もそうなんです、行事食もちょっとここへ入れてもらった方が良いと思います。	
(会 長)	そうですね、少しジャンルが違いますね。	
(委 員)	大きく言えば郷土食なんです、「郷土食、行事食など～」と、行事食を入れてもらった方が良く思うのですが、いかがでしょうか。	
(会 長)	今、意見が2つ出てきましたが、その点も加えて頂く形で修正して頂ければと思います。	
(委 員)	市町村によっては、一定の日を取り組む日として設定しているところがあるので、ぜひ全体でその日は家族で食について考えるというような日を、流れの中でどこかに入れて頂ければ、より関心も	

増えると思います。小・中学校での「安曇野市特色のある学校給食の日と食育の日（19日）を実施」を広げて、家庭までおろせるような何かあれば良いかなと思います。

(会 長) 19日は毎月食育の日というので色々な事をやっているところもありますし、6月は食育月間ということでイベント等をなさっているところもあると思いますが、そういった取り組みをどうするかということで、何かご意見ございましたらお願いします。

(副会長) 19日は、安曇野市では無線で栄養士さんが毎回お話をして下さっていますよね。ただ、無線がない家もあったり、無線を消している家もあるので、どの程度浸透しているのかは分かりませんが。

(会 長) そういった形で、みなさんに広く伝わる取り組みを考えて頂くということでよろしいでしょうか。学童期のあたりはデータを見ますと、6頁に「子どもの肥満の割合」というのがあって、そのへんの何か働きかけや目標値みたいなのはいいのかなと思ったんですけども。

(事務局) 合併してから年数が経っていないので18年度からの結果しかないものですから、今後5年間で結果が出るかなと思っているんですけども…。

(会 長) また、ちょっとご検討頂いて、もし必要であれば考えて頂きたいと思います。

(委 員) 29頁（高齢期）の目標のところに「歯の健康や、口腔機能を維持し、窒息や誤嚥性肺炎を減らす」という文がありますが、誤嚥性肺炎を減らす為というのは口腔ケアだと思うんですが、口腔機能維持というのは、そういう適切な口腔ケアも含んだ概念ということで良いのでしょうか。

(事務局) 良いと思います。それと口腔ケアとともに、口腔機能を落とさないような運動の奨励というようなことも考えています。

(会 長) 表現で何か気になりますか。

(委 員) この言葉で異論があるわけではないのですが…。お年寄りがこんな食事が不足がちですとか、こういう傾向がありますから注意してくださいといった事も、勿論言ってくれるということですよ。これは、計画というか、割と大雑把な方向性や目標なので、細かいことは色々考えて頂くということでしょうか。

(事務局) あくまでも計画なので、簡単にコンパクトにまとめてある部分もあります。その後、計画を推進する為の、実施マニュアルを作成したいと考えていますので、その中で入れていきたいと思っています。

(委 員) 高齢期のところでも歯の数のことが載っているのですが、青壮年期のところでも、何か歯を何本以上という目標を入れられれば全体のステージでずっと繋がってくると思います。

(会 長) そこに入れられる指標のようなものがございましたでしょうか。

(事務局) 安曇野市の歯科検診には口の中の状態が良い方ばかりがおみえになるので、非常に良い結果が出てしまっています。ですので、安曇野市の結果ではなくて、8020を達成する為に60歳では何本、70歳では何本という目標値を「健康づくり計画」の中には入れてあります。載せるのでしたら、そういうふうな方向で載せるしかないのかなと思います。

(委 員) それでも、無いよりはあったほうが良いと思います。

(事務局) では、また検討させていただきます。

(会 長) 27頁（青壮年期）で、「食事バランスガイド等を参考にしている人の割合」と「メタボリックシンドロームの内容を知っている人の割合」というのが出ていて、「食改アンケートより」となっているんですけども、今回のアンケートの数字をここでは入れられないのでしょうか？

(事務局) 今回のアンケートでは、ちょっとボリュームが多くなってしまったので、既存のデータを使うということで、18年度のデータがあったのでそれをそのまま活用させて頂いています。今調査すれば、もう少し高い数字になってくるかと思いますが、今回は調査をしていません。

(委 員) 32頁の高齢期ですけれども、青壮年期で保健指導されるなら、勿論高齢期でもされていると思うのですが…。

(会 長) 特定保健指導だと74歳以下というので、外されたんでしょうか？よく分かりませんが…。

(委 員) そうですね。むしろ高齢になった方が、指導が入った方が良いのかも知れないと思いますが。

(事務局) また検討させていただきます。

(委 員) 32頁の「すべてに共通」のところ、**「郷土食の紹介」を「郷土食ならびに行事食の紹介」として頂ければありがたいです。**

(会 長) 幼児期のところで保育園・幼稚園というのは、幼児期に含まれてくるというご説明がありましたが、学童期のあたりのところも、小・中学校共通というところとオーバーラップしてくるので、最初のライフステージの区分けは年代別で、保育園や学校の取り組みを縦の方にもってくと表現しやすいのかなと思いました。全体に渡るのは通して書けば、この年代ではこういう施策が展開されるんだとか、整理されるのかなと思いました。ご検討頂ければと思います。

(事務局) また検討させていただきます。

(事務局) 庁内検討委員会の中では、この中のライフステージの書き方については、色々意見が出ていて、もう一度精査したいと考えています。

(会 長) 子供の表記を「子ども」にしているのですが、別に悪くはないと思うのですが、そういう表現が多いかなという印象を受けました。

(委 員) 31頁なのですが、保育園と幼稚園を分けてあるのですが、これは同じ年代の子どもですよ。分けなければいけないんですか？

(事務局) その意見も出まして、分けたわけではなくて、たまたまこういう形になってしまったものですか

ら、この書き方も含めて、「ライフステージに応じた施策の展開一覧」というのは、もう一度見直していきます。

(委員) お年寄りを介護している介護者に対するお年寄りの食事の為の指導等も入れても良いのでは思ったりしました。どの程度高齢者の方までカバーしたいかという方針にもよると思うのですが…。

(事務局) また職員の中でも検討させていただきます。

(会長) そういうものを入れるとすると、事業としては新規になるという事ですよね？

(事務局) そうですね。

(委員) お年寄りになってくると、面倒をみてもらう立場の人も多いものですから、割りと大事なんだろうと思うんですが、今回の趣旨においてはお任せします。

(会長) では、またご検討頂いて次回の時にご報告頂ければと思います。

(委員) 世の中の食の安全性が色々多く騒がれています。ライフステージで衛生のところに「安全で衛生的な」というような言葉も加えて頂ければ、非常に広く良いのではないかなと思います。

(会長) 具体的な目標値のところでしょうか。

(委員) 例えば、23頁の目標の中に「衛生的な食事の摂り方を身につける」という表現がありますが、その中に安全という言葉も加えて頂ければ…。学童期だけでなく、他のところにも関連する部分があると思いますので、入れていって頂ければと思います。

(委員) 31頁の保育園のところに「アレルギー食の対応」というのがありますが、今、アレルギー食への対応は中学校の給食までやっていますよね。上の方まで書き加えた方が良いのではないのでしょうか。

(事務局) 加えさせていただきます。

(会長) 35頁の団体ヒアリングの結果のところの「(4) 食育推進のアイデア」の中に「施設・企業への出張、食育セミナー&試食会の開催」とありますが、安曇野市は工業生産高も高いというのをこの間の視察の時に伺いましたので、企業さんへの働きかけも考えて頂くと良いかなと思いましたけれども、その辺りはどうなんでしょうか。

(事務局) こども関係部局と相談させて頂いて、決めていきたいと思っています。

(会長) 他に何かございますでしょうか。

それでは、もし何か思いつかれましたら次回でも結構ですし、できれば事務局さんの方にここについてこんなふうに思ったというのをお寄せ頂ければと思います。

② その他

次回の予定等について

(会長) 協議事項の(2) その他に移らせていただきますが、事務局の方から何かございますでしょうか。

(事務局) 次回の予定・今後の進め方・パブチックコメントについての説明

(会長) 遅れていらした委員さんもいらっしゃるのですが、もしご意見があるなら、いつ頃までなら検討可能というのはあるのでしょうか。

(事務局) 今月中に。

(会長) 今月中であればご検討頂けるそうですので、この辺り検討が必要ではないかいうところがございましたら、事務局さんの方にご連絡して頂ければ、私の方とも連絡を取りながら、検討して参りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

それでは、本日用意致しました議事は以上で終わりになりますけれども、委員の皆様には密度濃くご議論頂きありがとうございました。

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に企画財政部まちづくり推進課へ提出してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。